

気持ちに添った

暮らしをつくる

グループホーム ハーモニー

運営委員長 原田 南海子

月曜日娘は「今週も頑張るからね!」と出かけて行きます。土曜日に帰宅し、予定がなければ絵を描いたりクッキーを焼いたり、自分のペースで過ごします。そして週の初めにグループホームに戻って行きます。

五年前母親達是我が子が暮らし場所として、グループホームを選びました。「何かが出来るようになったから」ではなく、「出来ない事があっても援助を受けながら暮らしに行けるグループホーム」をつくれればいいと考えました。

本来ならば親が考えるよりも、彼等が自分達の望む暮らしを他人に伝え援助する人達と一緒に話し合い、つくって行くものなのでしょうが、自閉症の彼等は「自分の思いを他人に伝え解かしてもらおう」事が最も苦手なのです。グループホームで暮らし事をどう思っているのか、確認する事が難しいだけに、我が子が何処でどんな暮らしをするのか、させたいのか親が意識して考え、子離れの一步として他人に託す準備をしていく必要があると思います。その為にも彼等の気持ちに添うように準備を

進めました。

宿泊やレクリエーションの時の様子から、お互いを認めている事、拒否はしていない事を表情や態度で確認しよしとしました。よりスムーズに新しい暮らしに入れるように三ヶ月間実際に暮らし場所(部屋)で、宿泊相手や日数の組合わせを代えたりと細かい点まで職員が考えて下さった事もあり、スタートはスムーズでした。娘は初め職員が自分のことをどう思っているか、グループホームでの自分の位置を確かめ、実家には土・日以外でも帰ることが出来るのか等、いろいろ試していました。

自閉症の人達の暮らしに特別な形があるわけではないと思います。個々に援助や配慮を必要とする場面や、接し方のちがいはありますが、他のグループホームの方の暮らしと大差はないと思います。彼等はグループホームでの暮らしを一つの約束事として受け入れ、実家との住み分けも出来て、自分のペースで暮らしています。

彼等なりに暮らしをつくり上げて丸三年が経ちました。三六五日グループホームで過ごすことは少し先になるかも知れません。まだまだ不安定なところもあります。でも「何とかやって行けそうですよ」と言う職員の言葉を励みに、彼等にとびつかりの居心地のいいグループホームについてもう少し考えてみようと思います。

字が読めなくても 暮らしやすい街に！

三月二五日、横浜市福祉のまちづくり条例が公布されました。

広報よこはまによると、条例の特徴は、基本的な調査や審議をおこなう福祉のまちづくり推進会議を設置し、福祉のまちづくり推進指針を策定する。福祉のまちづくり重点推進地区を指定する。建築物等の整備基準を定め、新設や改修の際に事前協議制による助言、指導を行う、というものです。

今後、施行規則が制定され、九年度中にも事前協議を含む条例の全面施行が予定されており、この条例が横浜市の福祉のまちづくりの基本となるということです。

この条例については、連絡会では昨年七月に横浜市から説明を受け、急ぎ入居者の皆さんにアンケート「生活の中で困ったことはありますか」を実施し、地域で暮

らしている障害者からの声として横浜市に届けたという経緯がありました。

アンケートは所属二五ホームに送付し、二三ホームからの回答が寄せられました。

外出状況、交通機関の利用、お店の利用、道に迷ったり困ったことなど、それぞれの質問に入居者や職員から多くの意見が寄せられました。約百名の入居者の声がこの中には集約されています。障害者のみなさんが何に困っているのか、考えさせられるものが多いです。紹介いたします。

駅でこまったこと

- ①どの乗り場に行けば目的地に行けるのかわからない。
- ②どの電車に乗れば目的地に行けるのかわからない。
- ③行き先までの値段がわからない。(値段表が複雑で理解できない)

バスでこまったこと

- ①知らないバス停で目的地に行くバスが来るのかどうかかわからない。(表示がむずかしい)
- ②乗りたいバスがどれくらい待てば来るのかわからない。(時刻表がむずかしい)
- ③どのバスに乗れば目的地に行けるのかわからない。(新路線が増えたり、同じ系統でも通るところが違ったりする場合特にむずかしい)

④時刻表が見にくい。(高さ、字の大きさ、複雑さなど)

⑤車内のアナウンスが頼りなのにアナウンスがなかったり、聞こえなくて乗り越すことがある。

⑥乗降に時間がかかると運転手さんがイライラすることがある。

⑦バスを待つ人の並ぶ所、順番がわからないことがある。

大きなお店 (デパートなど)で

- ⑧バスの行先表示がわかりにくい。
- ⑨リフトや、低床のバスを増やして。
- ⑩席に着く前に発車してしまうのでよく転ぶ。
- ①行きたい売場がわからない。(表示がわかりにくい)
- ②買いたい物がどこにあるのかわからない。(案内が不十分)
- ③買いたい商品がどれなのかわかりにくい。(見ただけではわからない商品の説明が読めない)
- ④迷って戻れなくなった時どこに

相談に行けばいいのかわからない。

- ⑤ 表示が不十分でトイレやエレベーターの場所がわからない。
- ⑥ 表示の位置が高すぎて見えない。
- ⑦ 店員さんが聞いてくれなかったり、対応がこわかったりする。
- ⑧ すわれる所がもつとあるといい。
- ⑨ 内装を変えた時にとても困る。

近所のスーパーやコンビニで

- ① 通路が通りにくい。
- ② 自動ドアのところが少ないので出入りが困難。入り口が狭い。
- ③ 一般客が利用できるエレベーターがない。(二階に行けない)
- ④ 通路に商品が置いてある。
- ⑤ 値段の表示がわからない。
- ⑥ 一階にトイレがない。

レストランや喫茶店で

- ① メニューの内容がわからない。絵や写真があるといい。

② 店員さんが言葉を聞いてくれなくて困った。

- ③ 障害者というだけで断られた。
- ④ 注文の仕方やお金の払い方がわからない。
- ⑤ 食べ方がゆっくりで店の人に怒られた。
- ⑥ 階段があつて店に入れない。(一階が駐車場で二階がお店。二階までは長い階段の店が多い)
- ⑦ 改装して今までなかった段差ができてしまうことがよくある。

道に迷ったとき

- ① 地下街の出口がわからない。
- ② 電柱の住所表示や看板などの字が読めない。(今どこにいるのか見当がつかなくなる)
- ③ 同じようなビルがたくさんあつてどこも景色が同じ。
- ④ 道を渡りたいのにどこから渡るのかわからないことがある。
- ⑤ 迷って連絡したかったのに電話の位置が高くてかけられなかった。

た。

- ⑥ 表示が高すぎて見えにくい。
- ⑦ 夜暗くて迷ったことがある。

そのほかこまったこと

- ① スポーツクラブやカルチャーセンターで入会を断られた。
- ② プールに行つて断られた。
- ③ 歩道上にいろいろな物がおいてある。(はみ出したゴミ、店の前の商品、自動車、自転車)
- ④ 無灯火自転車、無灯火自動車、無灯火バイクが怖い。
- ⑤ 車が狭い道をとばすのでこわい。
- ⑥ 道路工事が多くて通りにくい。

◇ ◇

- ① 解決の方法としてみなさんから寄せられたのは、
- ② 障害のある人の利用者モニター調査をやってみたかどうか。
- ③ 横浜市が条例を施行するにあたって、いろいろな圧力に押されることなく当事者の言っていることをよく聞いてほしい。
- ④ 小さい頃から障害者も個別に外

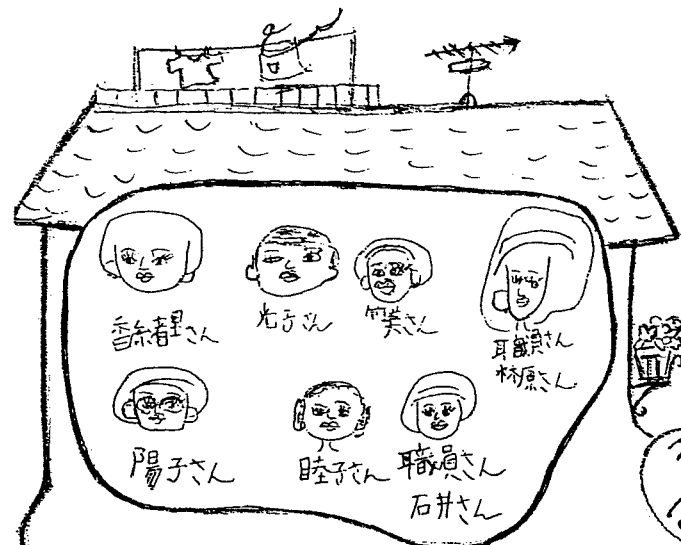
出する習慣を身につける。

- ④ ガイドヘルパー制度の充実。
- ⑤ 各駅に相談窓口をはっきりわかるように設けてほしい。
- ⑥ 駅に有人出札の窓口を一つは設けてほしい。
- ⑦ 地下鉄上り下りを色で区別できるように壁を色分けしてほしい。
- ⑧ 看板、地図はわかりやすいマーク等で表示してほしい。

みなさんの意見を読みながら、当事者からの意見を基に考えていくことが大変重要であることを感じました。

なかでも今まで立ち後れてきた字が読めなくてもわかる街(表示、案内の工夫)、機械が使えなくても困らない街への取り組みは今後の大きな課題ではないかと思ひました。

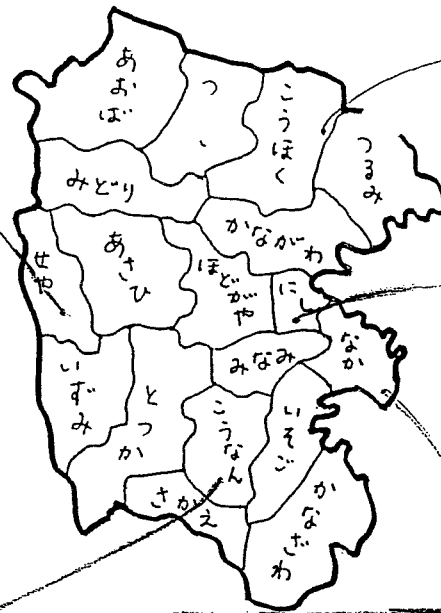
横浜市が規則を作るに当たって、当事者からの意見を聞く機会を設けていただくことを願っています。



グループホーム
ほほえみ

ほほえみは、去年11月から開所をして7か月に
なりました。女性だけのグループホームです。メンバー紹介
をします。柳谷睦子さんはおもしろいをいいます。原光子さん
はよくわらいます。高橋香緒里さんもよくわらいます。鈴木陽子
さんはスマップの中居くんが好きです。私の名前は小沢竹
美といます。私はよくわらいます。職員さんの紹介をします。
林原美弥さんはとてもかわいいです。石井裕子さんはえがおかか
わいいます。これからほほえみを宜しくおねがいします。(小沢竹美)

あたらしい
グループホーム
... よろしく ... です



港北老番館

こんにちは。港北老番館です。
4年の準備を経て、1997年にグループホーム
-4 港北老番館が 港北区細島の街に
誕生しました。入居者は男性3名女性1名で、それぞれ
別の企業、作業所に通っています。周辺は住宅地ですが、
近くに大型スーパーもあり、買物に便利でとても住みよい
場所です。すぐそばの小学校で時々 キッチンホールを
して遊ばせてもらったりしています。
港北老番館をよろしくお願ひします。(職員 萩原)



グループホーム ふじたな

はじめまして、イルカです。
グループホーム イルカは去年の7月に開所したばかりの新らし
いグループホームです。港南区の開静な住宅街の中で男5人に
きやかに暮らしています。イルカはどんな所ですか? —入居
者のみんなに きてみました。
島山さん ... 生活の場。ただそれだけのこと。
松永さん ... この生活になれてきました。楽しいです。
笠山さん ... みんないるから楽しい。
坂野さん ... イルカ、たのしいです。カラオケにも行くよ。
山内さん ... いちばん楽しい所です。カラオケに行ったり、
“とっち”へ行ったり、富士スーパーも近いので便利。
("とっち"は近くの中華料理屋さんです)
—イルカをどうぞ よろしく— (職員 岩永、鈴木)

グループホーム
さくらの
家

さくらの家の人たちが
みなさんがおかりい人たちが
はがりて、のしいです
みんなを、ソファや
パジャマをそでていま
すたいようかみんで
やったりカラオケがたのし
みです。
永田 孝

11月11日
11月11日
王とあふ

さくらの家の住人えりみち
今のたのしみは毎週火曜日の
りおりの日にお弁当作りをして
います。月木の日ははむく
ではたしています。
毎週水曜日は卓球とバドミントン
がっつりしています。

私達のホームは平成8年4月に始まり
ました。場所は西久保町です。駅で
いうと相鉄線の西横浜です。歩いて7
〜8分の所です。
メンバーは男性3人 女性3人の6人で
す。昼間は5人が会社に、1人は通所
更生施設に通っています。メンバーひとり
ひとりがとてもユニークで個性的です。自ら
進んで家事を手伝っています。
将来の夢は「ひとり暮らし」や「結婚」
などで、メンバーそれぞれとてもはり切
って生活しています。(職員 高田)

八年度に入居者部会で やったこと

部会長 井手 洋忠

野球見物

九月十五日(日) 横浜ー阪神戦を見物して結構いい試合だったんですけど、阪神が横浜に五対三で負けて、また最下位になりました。

ボーリング大会

十一月十七日(日) ハマボウルで

やつと実現!!

温泉旅行

3月～15日
14日

入居者部会で三年前から希望が出ていた温泉旅行がやつと実現! 伊東の豪華なホテル「じゅらく」で一泊二日。地震も収まり無事行くことができました。去年から準備をしてきた幹事さんの感想は:

原田さん

車イスで使い易いホテルがなかなか見つからず旅行会社の人がさがしてくれました。また神奈川新聞厚生文化事業団から十万円と国

五八人集まって、ボーリングをやりました。ガーターなしのところがあつて、みんな楽しんでくれて良かったと思います。

温泉旅行と交流会

三月十四～十五日(金・土)と伊東のホテル「じゅらく」に行きました。伊東沖の地震があつて心配したんですが、行かれて良かった。

際障害者年金基金から五万円を寄付していただきました。どうもありがとうございました。

森下さん

去年から下見に行ったり、バスの座席表や部屋わりの表を作ったり、大変でした。温泉旅行が無事終わって良かったです。

内藤さん

下見に行ったり、人数のかくにんをしたり、ホテルの人と話をしたり、バスをとったりしました。地震もあつて不安だったけど、行けて良かったです。

研修部主催 ビデオと講演

街に暮らす

スウェーデンの知的障害者福祉の実践

研修部 斉藤 リエ

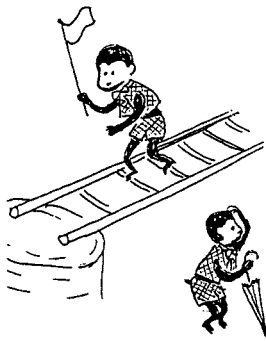
スウェーデンでは、十年まえに施設をなくすことを法律で決めま

した。そして、何年後には全部の施設をなくすという計画が進んでいます。施設にいた人たちは、ひとりひとりの希望に合わせてつくられたグループホームへと移ってきています。その様子を撮影した「街に暮らす」スウェーデンの知的障害者福祉の実践」というビデオがあります。三月十八日に横浜の県民センターで、そのビデオの上映とビデオの撮影に関わった、愛知コロニーの三田優子さんにお話を聞きました。七つのグループホームから二十六人が参加しました。ビデオを見て、まず職員が多さ

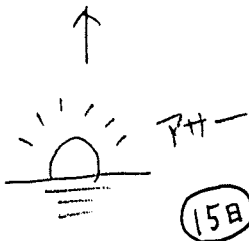
にびっくり。その他にも何か問題があつた時、入居者がすぐ相談できる制度や、住みやすいグループホームかどうかを定期的にチェックする制度など、入居した後もよいグループホームであるための制度も充実していました。

参加者からは、「スウェーデンでも、施設中心だったのだから、日本でもできることではないか」という感想や、「もっと人手があれば、入居者の話がゆっくり聞けるのに……」という職員の悩みなどいろいろ出ました。

三田さんは「日本でも、もっと障害者本人の意見を聞いていけば施設よりグループホームというようになっていくのではないか」と言いました。そして、入居者には「もっと言いたいことは言った方がいい」というスウェーデンの障害者の人たちからの言葉を伝えてくれました。

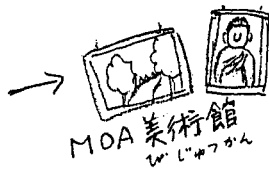


おさるランド

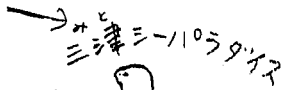


アサ

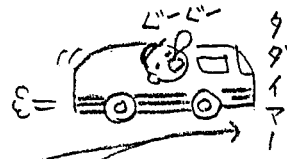
(15日)



MOA美術館
ムーザ美術館



- ・ホテルがよかった!
- ・温泉が気持ち良かった
- ・シーパラダイスがよかった!
- ・MOA美術館の
レーザー光線がきれいだった!

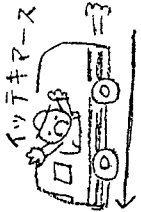


くすのき
ひろば
出発

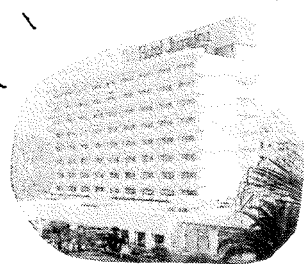
(14日)



温泉
交流
旅行
会



みなさんの感想

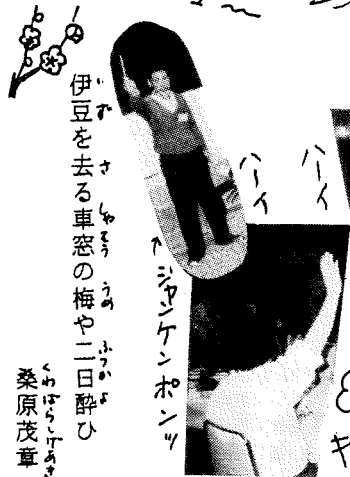


大きなホテル!!



"二次会"

ヨッパラッタヨ



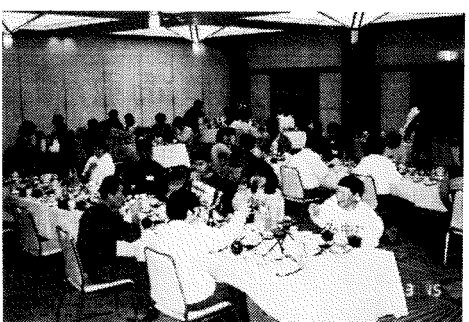
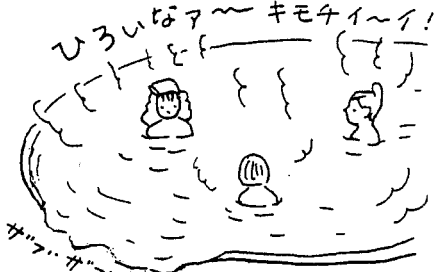
伊豆を去る車窓の梅や二日酔ひ

桑原茂章



カーキヤー

- ・お料理がおいしかった
- ・交流会が楽しかった!



わニ! おさしみ!

協力会員 募集!

まちの中でくらししている 障害者の姿や
声をお届けする機関紙「まちの中で」を
発行しつづけるために ご支援をお願い
いたします。

会費(年) 1口 2000円

振替... 00280-7-73608

横浜市グループホーム連絡会

☆協力会員になっていただいた方には
機関紙をお送りいたします。

基金づくりにご協力を!

グループホーム運営支援基金のために
みなさまのお手元でねびっている未使用の
テレフォンカード、オレンジカード、ビール券、
商品券などのご寄付をお願いします。

送り先・横浜市グループホーム連絡会
事務局

〒231 横浜市中区本牧満坂10

本牧生活の家 045-623-5318

新年度の協力会費

振り込みをお願い
いたします

阪神大震災にあった障害者の生活を支援するた
めに募金を引き続きおこなっています。振替は同上。
通信欄に「阪神大震災カンパ」と明記してください。

※ ありがとうございます。('97. 9. 1 ~ '97. 4. 31) 敬称略

寄付 沖山雪子 三田優子

テレホンカード・その他商品券 桑原玲子 市原かね子 水越玲子

中田栄 奥本民代 鈴木伸 加藤欽子 岩屋文夫 牧篤子
児玉英隆 草壁きみ 栗田桐花 上野敬子 八宮康明 近藤元恵
小川千代 中区本牧活動ホーム 田中 錦戸条子

協力会員 加藤文子 奥本民代 加藤欽子 飛田利美子

的場要美子 米山雅枝 ホンハイ(長谷川)

飯野美保子 根岸満恵 香西玲子

佐藤由身子 三村幸子 本多敬子

藤尾孝枝 宮坂栄子 森下博子

竹中志津子 小川千代 加藤悦子

香西玲子 永野昭子 沖山雪子

発行人 神奈川県身体障害者団体定期刊行物協会
横浜市港北区鳥山町1752
横浜ラポール3F
編集人 横浜市グループホーム連絡会
横浜市中区本牧満坂10本牧生活の家
TEL 045(623)5318
FAX 045(623)5319
郵便振込番号 00280-7-73608
名称 横浜市グループホーム連絡会
編集責任者 室津 滋樹
定 価 100円